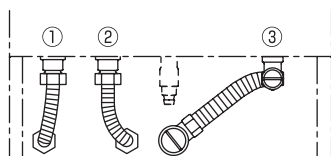
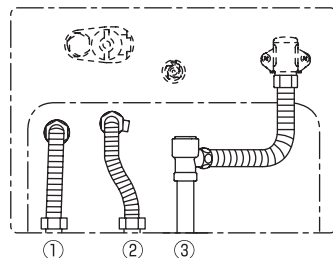
9 連結管（別売品）の取り付け（つづき）

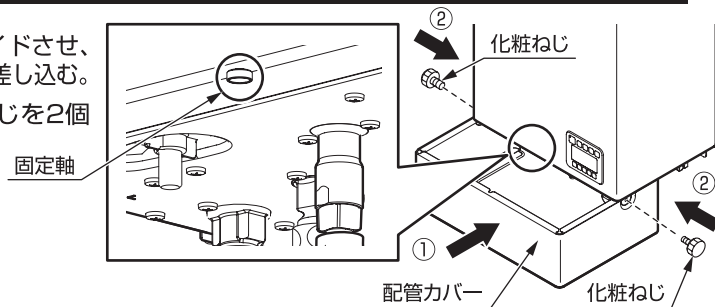
■連結管の施工例（標準施工の場合）

≪前面から見た図≫

≪底面から見た図≫

		①出湯管用連結管（L=150）	②排水管用連結管（L=150）	③給水管用連結管（L=150）
現場手配連結管の参考情報（曲げ目安） （注） 壁からの取出寸法を20mmとした場合の寸法	前面（右側面）	本体 袋ナット 44 壁 102 20	本体 袋ナット 44 壁 112 20	本体 袋ナット 51 壁 アングル形止水栓
	底面	4 壁	36 壁	100 壁 88 87

※アングル形止水栓を取り付ける場合。

配管カバーの取り付け方法

「11.試運転」および「12.機器内の水抜き」実施後、次の手順で配管カバーを取り付けてください。

①配管カバーをスライドさせ、固定軸のところまで差し込む。
②本体側面に化粧ねじを2個取り付ける。

10 電気工事

⚠警告

指定する電源以外では使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。

電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

漏電遮断器を取り付ける
感電や火災の原因になります。

1）電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
2）接地極付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

	品番※	電圧	消費電力	電源プラグ	対応コンセント
RED12型	REDJ12A1＊＊	AC100V	1.1kW	125V/15A	WK3001W（露出型） :パナソニック WF3002EK（埋込み型）:パナソニック
	REDJ12A2＊＊	単相AC200V		250V/20A	WK2520B/W（露出型） :パナソニック WF2520B/W（埋込み型）:パナソニック
RED20型	REDJ20A1＊＊	AC100V	1.5kW	125V/20A	WK3821（露出型） :パナソニック WN1121W1（埋込み型）:パナソニック
	REDJ20A2＊＊	単相AC200V	2.0kW	250V/20A	WK2520B/W（露出型） :パナソニック WF2520B/W（埋込み型）:パナソニック
RED30型	REDJ30A1＊＊	AC100V	1.5kW	125V/20A	WK3821（露出型） :パナソニック WN1121W1（埋込み型）:パナソニック
	REDJ30A2＊＊	単相AC200V	2.0kW	250V/20A	WK2520B/W（露出型） :パナソニック WF2520B/W（埋込み型）:パナソニック

※品番は、電気温水器本体右側面の銘板で確認してください。

注意	
	単相AC200V品は、旧型品から取り替える際はコンセントの交換が必要です。
	三相AC200Vは、対応できません。
	コンセントは、電源プラグに水がかからない位置に設置してください。

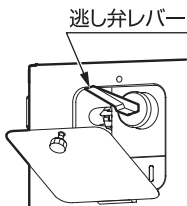
11 試運転

⚠注意

タンク内に水がないときは、絶対に沸上げ運転スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

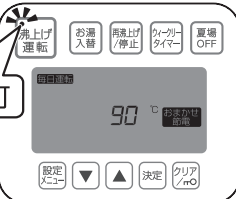
注意

機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、排水パイプから微量の水が流れ続ける場合があります。
そのような場合は以下の操作を行ってください。
1)逃し弁レバーを立てて、排水パイプから1分間ほど水を排出させ続けてください。
2)逃し弁レバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、排水パイプから水が流れ続けないことを確認してください。
(注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

逃し弁レバー

1)電気温水器への給水

①フィルター付き止水栓を開ける。
②混合栓の水側の止水栓を閉める。(シングルレバー混合栓の場合のみ)
③熱湯用単水栓を開け、タンクを満水にする。(シングルレバー混合栓の場合は、湯側を全開にする)

シングルレバー混合栓の場合	熱湯用シングルレバー混合栓または熱湯用単水栓の場合
湯側を全開にする	熱湯用単水栓を開ける

※水栓から水が出始めるとタンクは満水です。
④熱湯用単水栓またはシングルレバー混合栓を閉める。
⑤混合栓の水側の止水栓を開ける。(シングルレバー混合栓の場合のみ)
⑥配管接続部からの水漏れがないことを確認する。
⑦配管施工時の油などが入り、においがする場合は、混合栓の湯側または熱湯用単水栓を開けてしばらく放水する。

2)電気温水器への通電 空焚き禁止

ウィークリータイマー

①タンクが満水になったことを確認し電源プラグをコンセントに差し込む。
②沸上げ運転スイッチを押して、LEDが点灯することを確認する。
※設定温度を変更する場合は、取扱説明書を参照してください。

注意

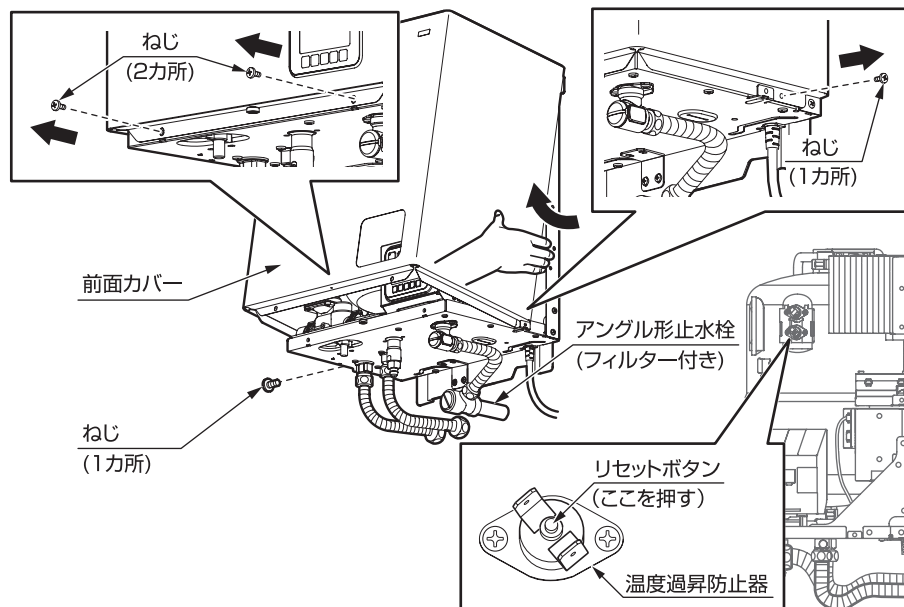
湯を半分程度使うと表示パネルの温度表示部が点滅し、沸き上げ温度を表示します。このとき水栓から出る湯の温度と沸き上げ温度が異なる場合があります。

水圧が高い場合は、混合栓から湯が出にくくなります。そのときは水側止水栓を絞ってください。

11 試運転(つづき)

空焚きリセット方法

※万一空焚きをした場合は、沸上げ運転ランプが点滅し、タイマー表示部に"88:88"と"点検"を点滅させてお知らせします。
その際は、以下の処置を行ってください。
①電源プラグをコンセントから抜く。
②タンクに水を入れる。
③電源プラグをコンセントに差し込み、沸上げ運転スイッチを「入」にする。

※上記の処理を行っても湯が沸かない場合は、次の手順で温度過昇防止器をリセットしてください。
①4カ所のねじを外し、下側を斜め上に持ち上げて前面カバーを取り外す。
②タンク側面の温度過昇防止器のリセットボタンを押す。
③前面カバーを取り付ける。
④電源プラグをコンセントに差し込み、沸上げ運転スイッチを「入」にする。

注意

止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
掃除の方法は、取扱説明書を参照してください。

減圧弁、逃し弁は消耗品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。
交換時期の目安は5年程度です。